

日中対照言語学会会報 (No.31)

2015年4月27日(月)発行

会報担当: 続三義

加藤晴子

目次

1. 4月常務理事会拡大会議(2015年4月19日)議事録
 2. 日中対照言語学会第33回大会(2015年度春季大会)のご案内
 3. お詫び
- ※ 事務局より

1. 4月常務理事会拡大会議(2015年4月19日)議事録

日時: 2015年4月19日(日) 15:00~17:00

場所: 東洋大学白山キャンパス2号館3階第1会議室

出席者: 続三義、加藤晴子、王学群、高橋弥守彦、佐藤富士雄、安本真弓、竹島毅、上地宏一、椿正美、白石裕一、石井宏明(敬称略)

[審議事項]

① 第33回大会(2015年度春季大会)のプログラム

王学群事務局長より11名の応募者があったことが報告された、その内の9名が発表することにする。1名あたりの時間を発表25分、質疑応答5分、合計30分とする。

開催校挨拶を安本常務理事に高千穂大学の関係者に依頼してもらい、手伝いの学生に対しては報酬6,000円+弁当を支給する。

② 2015年度会員総会の議題

2014年度決算、2015年度予算、漢日対比言語学研究(協作)会とのホームページのリンク、顧問・名誉会員の規定、顧問推薦、会計人事、その他

③ 学会顧問・名誉会員に関する規定(案)

高橋常務理事から「顧問・名誉会員に関する規定」が提案され、文言の修正を加えたうえ、会員総会にて審議することが承認された。

④ 名誉顧問の推薦・候補者佐藤富士雄先生

佐藤富士雄常務理事を名誉会員候補者として推薦し、佐藤富士雄常務理事からの承諾を頂き、会員総会にて審議することが承認された。

⑤ 会計系の交代

椿正美現会計係に代わり、白石裕一会員が会計係に推薦され、承認された。そして、報告事項②に関係するが、椿会計係がこれまでの会計項目をきちんと整理し、引き継ぎをスムーズにするように提案され、了承された。

⑥ 月例会と常務理事会の開催日について

月例会と常務理事会はできるだけ同日に開催することが提案され、了承された。

⑦ 中国支部の会費について

報告事項②に関係するが、円と元のレートが大きく変わった現状において、現状を維持するか否か、維持するならば、中国側から質問があった場合、どう答えるべきかという質問が出され、

一定の期間で見直しを行うべきであると提案があり、承認された。

[報告事項]

① 学会誌第 17 号『日中言語対照研究論集』編集の進捗状況

安本真弓常務理事から、査読に時間がかかっていたが、編集作業がスムーズに行われ、学会の春季大会までには上梓出来ることが報告された。奥付は高橋弥守彦前理事長より続三義現理事長となる。

② 会費納入の現状

椿正美会計係より、2014 年度国内会員と中国支部会員の会費納入に関する報告、並びに 2013 年度と 2012 年度の会費納入に関する追加報告がなされた。

上の報告について、2013 年度については、納入数は以前の報告と追加報告との間に差異があり、その数の変動について総会で報告すべきこと、さらに 2011 年度から 2014 年度までの総括を行うべきことが提案され、了承された。

未納者については、引き続き根気よく督促することが了承された。

③ 学会誌送付の現状

竹島毅常務理事より 128 名に送付されたことが報告された。

④ 特集号の進捗状況について

王学群事務局長により 13 名の執筆者に依頼することが報告された。

2. 第 33 回大会 (2015 年度春季大会)のご案内

記

日 時：2015 年 5 月 17 日 (日) 午前 9 時 00 分～午後 17 時 00 分 (予定時間)

会 場：高千穂大学 (東京都杉並区大宮 2 丁目 19-1 交通：井の頭線西永福駅下車、北へ徒歩約 10 分)

参加費：1,000 円 (会員、非会員共通)

プ ロ グ ラ ム

受付 (9:00-) 総合司会 竹島毅 (大東文化大学)

大会開催校挨拶 笹金 光徳 (高千穂大学学長) 9:20-9:30

開会の辞 加藤 晴子 (東京外国語大学) 9:30-9:40

研究発表 1. “把”構文の語順について ——副詞の位置を中心に
小路口 ゆみ (大東文化大学大学院) 9:40-10:10

研究発表 2. 中国語の“就(jiù)”から見た日本語
廖 郁雯 (昭和女子大学・非常勤講師) 10:10-10:40

以上 司会 平山邦彦 (拓殖大学)

休憩 (10 分間：10:40-10:50)

研究発表 3. 「けっこう」の意味機能の多様性——漢語「結構」からの変容——
張 琳 (東洋大学大学院) 10:50-11:20

研究発表 4. 中国語における結果複合動詞 V1 と V2 に見られる統語関係

——Small clause の分析を視野に入れて

李 鵬 (大東文化大学大学院)

11 : 20—11 : 50

研究発表 5. 動態存在文に見られる名付けのな意味について

洪 安瀾 (大東文化大学大学院)

11 : 50—12 : 20

以上司会 王学群(東洋大学)

昼休み (60 分間: 12 : 20—13 : 20 駅の周辺に食堂街あり)

講演 現代日本語の複合的条件形式——「くらいなら」を中心に

前田 直子 (学習院大学)

13 : 20—14 : 20

以上司会 続三義(東洋大学)

休憩 (15 分間 : 14 : 20—14 : 35)

研究発表 6. 程度表現の対照研究——当為のモダリティ表現

時 衛国 (愛知教育大学)

14 : 35—15 : 05

研究発表 7. 昔話を使った発話訓練に関する報告——学習する文法事項を定めて——

石井 宏明(東海大学・非常勤講師)

15 : 05—15 : 35

以上司会 高橋 弥守彦(大東文化大学)

休憩 (15 分間 15 : 35—15 : 50)

研究発表 8. 現代中国語の結果補語に関する研究

——“V 上”と“V 起来”の文法的使い分けと意味的分析を中心に——

邨 鷗 (新潟大学大学院)

15 : 50—16 : 20

研究発表 9. 中国語方向補語“起来”について——“起来”の意味拡張現象を中心に——

谷 恵中(新潟大学大学院)

16 : 20—16 : 50

以上司会 佐藤 富士雄 (中央大学)

閉会の辞 続 三義 (東洋大学)

16 : 50—17 : 00

会員総会 17:00—18:00

※当日入会申し込み、学会費の納入も受け付けます。(年会費：社会人 4,000 円、院生 2,000 円)

講演および研究発表の要旨

講演 現代日本語の複合的条件形式——「くらいなら」を中心に

前田 直子 (学習院大学)

要旨：現代日本語の条件表現には、「ば／と／なら／たら」という 4 つの基本形式があり、この使い分けは日本語を学ぶ外国人にとって難しい面がある。

例：この薬を {飲めば／飲むと／飲んだら／飲むなら}、熱が下がる。

これら 4 形式の意味的・統語的な性質については、これまでに多くの研究があるが、近年は、「方言」における条件表現の研究や「歴史」的な研究と、理論的・記述的な現代語研究がリンクして、より広い視野で条件表現をとらえる動きが広がっている。

中でも注目されるのは「なら」という条件形式である。「なら」は、時間的前後関係が他の 3

形式と異なり、従属節が主節に後行する事態を表すことができる（例：来週、引っ越すなら、明日の研究会には参加できない）。また「するなら／したなら」のように非過去形／過去形の両者に接続できる、すなわちテンスの分化があり、過去や現在の実現済みの事態を仮定することができる（例：昨日、ボーナスが出たなら、明日は食事に行こう／そこにいるなら、出てきなさい）。このような「なら」の特徴から、前件が既実現である条件文を「認識的条件文」と名付け（有田節子 2007）、「なら」の特徴の一つととらえる研究もある。

「なら」のさらなる特徴は、名詞に直接接続できることであり（例：温泉なら、箱根がいい）、これは「なら」が歴史的に断定を表す助動詞（copula）であったことと関わると考えられるが、この「なら」に形式的な名詞が接続した複合的条件形式の研究はこれからの課題の一つである。その典型的な形式は「のなら」であるが、本講演では「くらいなら」という複合的形式の記述を試みる。

「くらいなら」は、典型的には、前件に話し手が嫌悪する望ましくない未実現の事態が表され、後件にはそれよりも望まれる事態が表される（例：諦めるくらいなら、死んだ方がましだ）が、前件はすでに文脈に出現している事態であり、「くらいなら」は「認識的条件文」を表すことができる形式と言える。また、それ以外にも、反事実的な場合（例：借金するくらいなら、私が貸してあげたのに）や、程度を表すという「くらい」の本来の意味が残っている場合（例：あの大学に入れるくらいなら、優秀な高校生だったのだろう）もある。「くらいなら」という複合的な条件形式の用法を、「なら」およびその他の日本語の条件形式の用法と比較しつつ見ることにより、日本語の条件表現（特「なら」）の特徴を考えてみたい。

研究発表

① 小路口 ゆみ（大東文化大学大学院）

発表テーマ： “把” 構文の語順について——副詞の位置を中心に

要旨：“把” 構文における副詞は、一般には“把” の前に用いなければならないとされている。中国語の教科書（例 1）にはそのような説明があるが、実例から考察したところ、“把” の前に用いられる場合もあれば、“把” の後に用いられる場合もある（例 2）。

(1) a. 我没把自行车停在楼下。（《成功之路》顺利篇 2:124）

私は自転車を下に止めたわけではない。（筆者訳）

b. *我把自行车没停在楼下。（《成功之路》顺利篇 2:124）

(2) 把我的文思常常忽然惊断。《关于女人》

構想はいつも途中でおじゃん。『女の人について』

なぜ“把” 構文における副詞は「処置のむすびつき」を表す標識である“把” の前後に用いられることができるのか。“没” は否定副詞であり、“常常” は頻度を表す副詞であるから、副詞の位置はその種類に関係すると推測される。このため、文中における副詞の位置に対して、副詞の種類がどのような影響力を及ぼすのか、そのことについて考察したいと思う。

② 廖 郁雯（昭和女子大学・非常勤講師）

発表テーマ： 中国語の“就(jiù)” から見た日本語

要旨：中国語の“就(jiù)”は本来動詞から転じてきたもので多種の意味を持つ。動詞とする意味は「近寄る」「(ご飯を食べるとき料理を)添える/おかずにする」「~に合わせる/適応させる」「~にしたがう/~の次第による」「就く/従事する/始める」等の意味をする。

現代中国語の“就(jiù)”は動詞, 介詞, 副詞さらに接続詞の 4 種類の品詞を持っている。“就(jiù)”は置かれた位置によって様々の役割を果たす。次の例文は動詞, 介詞, 副詞, 接続詞という順で示される。他就过来听我们讲话。(彼は近寄って来て我々の話を聞く)(『白水社中国語辞典』2002:703)/请你就今天讨论的内容写一份报告。(今日討論した内容について報告書を書きなさい)(高橋 1995:379)/我就去。(私はすぐに行きます)(『白水社中国語辞典』2002:703)/你就不说, 我也知道。(あなたが教えてくれなくても, 私は知っています)(高橋 1995:380)。

実例を収集する際, “就(jiù)”は日本語と対応できない例文が少なくない。それによって“就(jiù)”は中国語学習者にとって頭を悩ます一環であろう。そこで, 本稿では, 中国語の“就”は日本語から見れば, どのように対応されるかは, 辞書, 及び文学作品から収集した実例に基づいて介詞, 副詞, 接続詞という順で考察を試みたい。

③ 張 琳 (東洋大学大学院)

発表テーマ：「けっこう」の意味機能の多様性——漢語「結構」からの変容——

要旨：古代の日本語は中国から大量の漢語を輸入した。それらの漢語は受容された後、日本語の体系の変化とともに、意味・用法を変化させながら定着している。それゆえ、数多くの漢語は当然ながら、中国の原義と違った意味・用法を持っている。しかし、現代の日常生活で使用される時、現代語の辞書にも載っていなかったり整理して記載されていなかったりするために、明確な使用判断ができないものも少なくない。「結構」(「けっこう」)もその一例である。

本稿では、「けっこう」の意味・用法、および談話内における機能や語用論的な機能を究明するための準備段階として、先行文献の整理を行う。現代語の「けっこう」を分析対象とするが、必要に応じて、古典の先行文献やコーパスを利用する。

研究の中心となるのは、①形容動詞「けっこう」のプラスとマイナスの評価的意味の異同と「断り表現」となるメカニズム、②程度副詞「けっこう」が評価性を持つメカニズム、③談話の中で機能する誘導副詞や間投詞としての用法である。

⑤ 李 鵬 (大東文化大学大学院)

発表テーマ：中国語における結果複合動詞 V1 と V2 に見られる統語関係——Small clause の分析を視野に入れて

要旨：現代中国語の結果複合動詞 (Resultative Compound Verb) は通常、前項動詞の V1 と後項動詞 (一部形容詞も入る) の V2 から成り立ち、両者の間には以下二通りの関係が見られる：その一は前項動詞の V1 が基底構造においては V2 を含む小節 (Small clause) を補文に取る、即

ち [V1 [sc NP V2]] 或いは [V1 [sc V2 NP]]. その二は一と逆のケース、後項動詞の V2 が基底構造においては V1 を含む小節を補文に取る、即ち [V2 [sc NP V1]] 或いは [V2 [sc V1 NP]]. 一の関係を取る RCV は前項動詞と後項動詞の間には意味関数の CAUSE が介在することを前提としている。例えば、“喝醉”“走累”“骂哭”“睡坏”“唱哑”等はこういうタイプである。二の関係を取る RCV は a 後項動詞は前項動詞のアスペクトと見なす事ができるタイプ：“完”“了(音：liao(215))”“过”など、b 後項動詞は前項動詞の量的指標を表すもの：“光”“着(音：zhao(35))”“到”等、c 後項動詞は RCV の動作主読み (agent-oriented) が取れる場合：“惯”“腻”“烦”“累”等の三つの具合が見られる。本稿は前項動詞と後項動詞に見られるこのような関係を裏付ける理論的根拠を提示し、中国語の RCV の生成過程を更に詳しく指摘しようと考えている。

⑥ 洪安瀾 (大東文化大学院)

発表テーマ： 動態存在文に見られる名付け的な意味について

要旨：中国語の静態存在文は、一般的には動作の結果が保持されていることを示す。それに対して、「動態存在文」は主体のある場所での動作を、「主体の存在方式」として考えられ、このような存在方式を表す文である。

- (1) 湖里游着一群鸭子。(李临定 1993:335)
湖ではアヒルの一群が泳いでいます。(同上)
- (2) 草原上奔驰着一群骏马。(同上)
草原には駿馬の群れが疾駆しています。(同上)
- (3) 空中飘着雪花。(同上)
空に雪がひらひらと舞っています。(同上)
- (4) 夕阳中摇曳着羽毛草。(宋玉柱 2007:55)
夕焼けの中にはハブソウがゆらゆらと揺れている。(筆者訳)
- (5) 草原上弥漫着晨雾。(宋玉柱 2007:56)
草原に朝霧が広がる。(筆者訳)

本発表は、連語論の蓄積 (鈴木康之 2011、言語学研究会編 1983 など) を参考にし、動態存在文に見られる名付け的な意味は、以下のように分類できると主張する。

- ・「空間的な移動のむすびつき」(例 1、例 2、例 3) (鈴木康之 2011:29)
- ・「モノの繰り返しのむすびつき」(例 4)
- ・「モノの拡大・縮小のむすびつき」(例 5)

「モノの繰り返しのむすびつき」と「モノの拡大・縮小のむすびつき」は筆者による分類である。連語がそれぞれ、モノの「間欠・循環」のように繰り返している出来事と、「拡大・縮小」の変化を名付ける。

⑦ 時衛国 (愛知教育大学)

発表テーマ： 程度表現の対照研究——当為のモダリティ表現

要旨：程度表現が当為のモダリティ表現と共起することができるという点では、中国語と日本語は共通している。例えば、

(1) 年轻时更应该工作。

(2) 若い時はもっと働くべきだ。

では、“更”と<もっと>は当為を表わすモダリティ表現“应该”と「べきだ」と共起しているものと考えられる。しかし、

(3) 这是年轻人很应该看的文章。

(4) *これは若者がとても読むべき文章だ。

では、“很”は“应该”と共起することができるのに対し、<とても>は「べきだ」と共起することができない。

本研究は、これまでの先行研究を踏まえ、程度表現がどのように当為のモダリティ表現と共起し、どのような特徴を有するのか、そして二者が共起する場合どのような意味を表わすのか、どの種類の副詞が当為のモダリティ表現と共起し、どの種類の副詞が共起できないのか、などについて考察し、両言語の共通点と相違点及びそれぞれの特質を明らかにしたい。

⑧ 石井 宏明（東海大学・非常勤講師）

発表テーマ： 昔話を使った発話訓練に関する報告——学習する文法事項を定めて——

要旨：すでに基本文法を学んでいて、一定量の単語を記憶しているが、中国語での発話がなかなかできないでいる学生を対象に昔話を使った発話練習を実施した。場面構成が複雑ではなく、基本的な単語が使われ、「文芸作品」のように表現の細部までが固定されてなく、荒筋以外に話の肉付けがしやすい昔話を使うことにより、学生が自分で考え、想像した事柄を中国語で発話する練習ができると報告者は考えた。これらについては、すでに、「昔話を使った発話練習に関する報告」『東海大学外国語教育センター所報』32（2012）と「昔話を使った発話練習に関する報告（文法）」『東海大学外国語教育センター所報』33（2013）で報告した。

これまでは、学生の自由な発話に任せた練習を行ってきたが、学習目標を設定し、その目標を達成する練習ができたほうが、練習方法として使い勝手が良いと考えた。学習目標を定めた発話練習の学習効果を観察するために、学習目標を“把”字句に定め発話練習を実施した。今回はその練習状況について報告する。

⑨ 野 鷲（新潟大学大学院）

発表テーマ： 現代中国語の結果補語に関する研究——“V 上”と“V 起来”の文法的使い分けと意味的分析を中心に——

要旨：いままでの研究では、結果補語となる“V 上”と“V 起来”に関するそれぞれに扱った研究はあるが、“V 上”と“V 起来”を結果補語として比較研究は少ない。従来の研究は、“V 上”と“V 起来”を結果補語として、双方が置き換えられる点に注目している。しかしながら、その両者の違いについての研究は少ない。また、語用論の立場からの研究はさらに少ない。本論文では、以上の問題点を明らかにするため、結果補語“V 上”と“V 起来”の使い分けを分析したい。

例えば、“V 上”と“V 起来”が置き換えられる場合

(1)a. 母亲用湿帕子把他的腿包上，又在他发烧的前额放上一张湿帕。(CCL)

(母は濡れたハンカチで彼の足を包み、また彼の熱い額にも一枚置いた。)(筆者訳)

b. 母亲用湿帕子把他的腿包起来，又在他发烧的前额放上一张湿帕。(訳文は 14a 同様)

例文(1a)では、“包上”が“包む”という動作の完了を中心として表現している。例文(1b)の“包起来”はハンカチの動きに注目し、その動きはどんな結果になるか(ハンカチは足にとって、その足をしばる)について表す。

“V 上”と“V 起来”が置き換えられない場合

(2)a. 稲葉同学小心翼翼地锁上门。

(稲葉さんは慎重に門に錠をかけた。) (筆者訳)

b.*稲葉同学小心翼翼地锁起来门。

例文(2a)では、“锁上”が“锁”(錠をかける)という行動の結果(成功に施錠した)を表す。“锁上”は動作“锁门”(門に錠をかける)が完成したことを説明するが、錠の開けたまま様態からの動きの結果も伝える。例文(2b)で、“起来”はもともと動作の受け手を注目する。そのため、“锁起来门”は動作の受け手を焦点としないので、例文(15b)は不自然な文になる。しかし、もし“锁起来门”ではなく、“把门锁起来”になったら、自然な文になる。

⑩ 谷 恵中 (新潟大学大学院)

発表テーマ: 中国語方向補語“起来”について——“起来”の意味拡張現象を中心に——

要旨: “起来”の意味と用法に対する考察は、これまで数多く行われてきた(刘月华 1988、平井和之 1991、荒川清秀 2003 など)が、“起来”の多義性について、学校文法では、基本義及び派生義を細かく記述する程度にしか至っていない。基本義と派生義との間に存在する関連性や複雑な結びつきは長い期間明らかにされてこなかった。

本論文は齐沪扬、曾传禄(2009)による研究を踏まえ、“起来”の意味拡張現象に焦点を絞り、文レベルから“起来”に関する考察を行うことを通じ、“起来”の各意味を生み出す語彙的、文法的あるいは統語論的な条件を探り出してみる。

結論としては、空間的な移動を表す“V 起来”のVは、位置の変化に関わる動作動詞であるという語彙的な制限を受ける。動作の始まりを提示する“起来”は自立できなくなり、前の動詞とは補文関係を持つことがわかる。話し手が事柄に関する評価や見積もりを語る“V 起来”の文は二重構造を備える。特に、Vが五感動詞に該当する場合、“V 起来”の文は逆接関係の複文の節としての機能を負う。

3. お詫び

会報 30 号掲載の、学会の 2014 年度第 3 回常務理事会拡大会議の関係情報の中で、次期理事に推薦された、苗苺会員のご氏名の表記が間違っていたことを深くお詫び申し上げます。

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。ただし、申し込みができない場合は王学群事務局長 (Lwn365@yahoo.co.jp)、または竹島毅常務理事 (sisi@kkd.biglobe.ne.jp) までご連絡をください。年間会費は社会人 4,000 円、院生 2,000 円となっています。皆さんの入会を歓迎いたします。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方が